

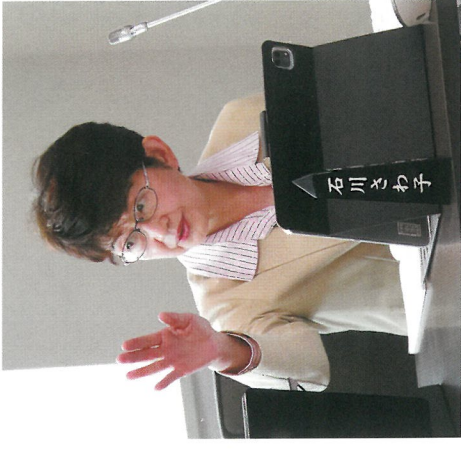
支援による再犯防止で、ともに生きる社会を

■北海道において、犯罪で検挙された再犯者数は2022年で3,354人、検挙された人数全体に占める再犯者の割合は44.2%と10年位おおむね同程度で推移しています。再犯の背景としては、貧困や精神疾患、障がいなどです。「第二期北海道再犯防止推進計画」に基づき、様々な取り組みが行われていますが、犯罪や非行をした人が社会において孤立することなく、再び犯罪等に結びつかない様に、地域の様々な社会資源が強くつながり、支援することが重要です。

■支援には、逮捕後に刑務所に入ることなく社会に戻った時に自立した生活が困難な方の社会復帰

や刑務所を出た方の仕事や住宅の確保などがあります。また、保護司は犯罪をした方が孤立することなく、社会の一員として安定した生活が送れるよう国の保護観察官と協働して保護観察を行うなどの活動をしています。しかし、保護司活動において、自宅で面接することにより家族の理解がなかなか得られないなどの声があり、面接場所の確保等の支援が必要です。

■道内市町村においても、医療、福祉などの関係機関がネットワークでつなげることがはもとより、道が、再犯防止に向け地域の住民の理解が広がるようさらに取り組みをすすめることを求めました。



北海道議会環境生活委員会
質問する 石川さわ子
(2月20日、北海道議会議事堂3階、
第12委員会室にて)

地域で安心して暮らせるまちづくりを

夏祭り!北区内各地で開催

視察報告



北海道結志会



産炭地域振興・エネルギー調査特別委員会

道産木材の活用促進を

㈱サイプレス・スナダヤ(愛媛県西条市)は、地元資源を活用した製材等を生産し、杉、桧のCLT盤は国内最大規格。2027年、北海道釧路市で製材工場稼働を予定しており、道産木材の利活用を期待。(8/1)



太平台が原



麻生

▶町内会等が主催する夏祭りに参加し、道政についてのご意見を伺いました。(7/20)

▶多様な子育て支援について意見交換しました。(8/3)

切り取り

子ども・地域を守ろう



篠路

◀地域の方のご意見を受け、保育園前の交差点の交通状況を調査し、安全対策を北警察署に要望しました。(6/13)

▶介護体験やSDGsなど何でも話せる議会報告会を開催し、参加者と意見交換しました。(3/30)



さわ子とみ

おしゃべり

議会報告会を開催

ひとことアンケート

- あなたが最近気になっていることは何ですか。
- 印をつけてください。いくつでもOKです。
- ・防災、減災 ・子育て支援 ・ジェンダー平等
 - ・若者の就労 ・障がい者支援 ・憲法「改正」
 - ・マイナ保険証 ・北海道の財政 ・介護保険
 - ・気候変動 ・再生可能エネルギー ・動物福祉
 - ・学校給食の無償化 ・子どものいじめ ・人権

■気になる事やご意見をご記入ください。

北海道議会を傍聴しよう!

■2024年 第3回 定例道議会 9月10日(火)~10月4日(金)
一般質問 9月19日(木) 16時頃(予定) 石川さわ子が行います。
予算特別委員会 9月27日(金)~10月2日(水)
*インターネットで中継されています。

■第4回 定例道議会 11月26日(火)~12月12日(木)

問い合わせ：北海道議会 石川さわ子事務所
TEL 011-219-0112

ご意見をお聞かせください



■よろしければ、ご記入ください。
あなたの年齢 (10・20・30・40・50・60・70・80~) 歳代

お名前

ご住所

TEL/FAX